

岩槻 2024年 1月 25日開催
新宿 2024年 2月 2日開催
目白大学学生評価委員会

2023（令和5）年度 学生評価委員会 報告書

目白大学

目次

| | |
|---|----|
| 1. 本学の内部質保証と学生評価委員会について（趣旨） | 3 |
| 2. 第1期学生評価委員会委員 | 4 |
| 3. 学生評価委員会の設置、役割について（関連規程） | 4 |
| 4. 2023年度学生評価委員会活動概要 | 5 |
| 5. 事前活動 | 5 |
| 6. さいたま岩槻キャンパス委員会会議 | 6 |
| 6-1. 会議概要 | 6 |
| 6-2. テーマ | 7 |
| 6-3. 学生評価委員会からの改善の提案 | 7 |
| 6-3-1. 【テーマ1】大学での時間を有意義に過ごすための改善の提案 | 7 |
| 6-3-2. 【テーマ2】入学前教育やオリエンテーションについて | 9 |
| 6-4. 各チームのプレゼンテーション資料 | 10 |
| 6-5. さいたま岩槻キャンパスの学生評価委員会の提案によせて | 13 |
| 7. 新宿キャンパス委員会会議 | 14 |
| 7-1. 会議概要 | 14 |
| 7-2. テーマ | 14 |

| | |
|--|----|
| 7-3. 学生評価委員会からの改善の提案..... | 14 |
| 7-3-1. 【テーマ1】教育効果が高いオンデマンド授業への改善の提案..... | 14 |
| 7-3-2. 【テーマ2】入学確定から授業開始までにどんな機会があったら良いか..... | 16 |
| 7-4. 各チームのプレゼンテーション資料..... | 16 |
| 7-5. 新宿キャンパス学生評価委員会からの提案によせて..... | 19 |
| 8. 事後活動と提案への検討・回答の周知について..... | 20 |
| 9. 【総括】2023年度（令和5年度）第1回学生評価委員会の活動によせて..... | 21 |

1. 本学の内部質保証と学生評価委員会について（趣旨）

本学の「教育の質の保証」については、1994年の開学当時より、体制を整備し、高等教育機関として質の向上に努めて参りました。2006年4月には、目白大学・目白大学短期大学部における自己点検・評価及び第三者評価等に関する規則を制定し、自己点検・評価等実施部会、第三者評価結果等検証部会及び短期大学部自己点検・評価等部会を設置し、組織的な教育活動の自己点検の体制強化を行いました。

2020年4月には、当該規則の改正、並びに目白大学・目白大学短期大学部における内部質保証に関する規程を新たに制定し、上記3部会を統合して、学長のリーダーシップのもと、評価・改善等を策定する委員会として、『内部質保証委員会』を設置し、大学における自主的な質保証への取組（内部質保証）体制を整えました。

『学生評価委員会』は、2023年4月に改正した「目白大学・目白大学短期大学部における内部質保証に関する規程」第4条3及び第11条により、在学生から意見を得ながら、教育活動等の充実と向上、改善を促進するために設置された組織であり、本学の内部質保証体制の強化と学生が大学での学びにより自らが成長を実感する場＝「学修者本位の大学」の創出を目的としています。

内部質保証推進体制（関連規程）

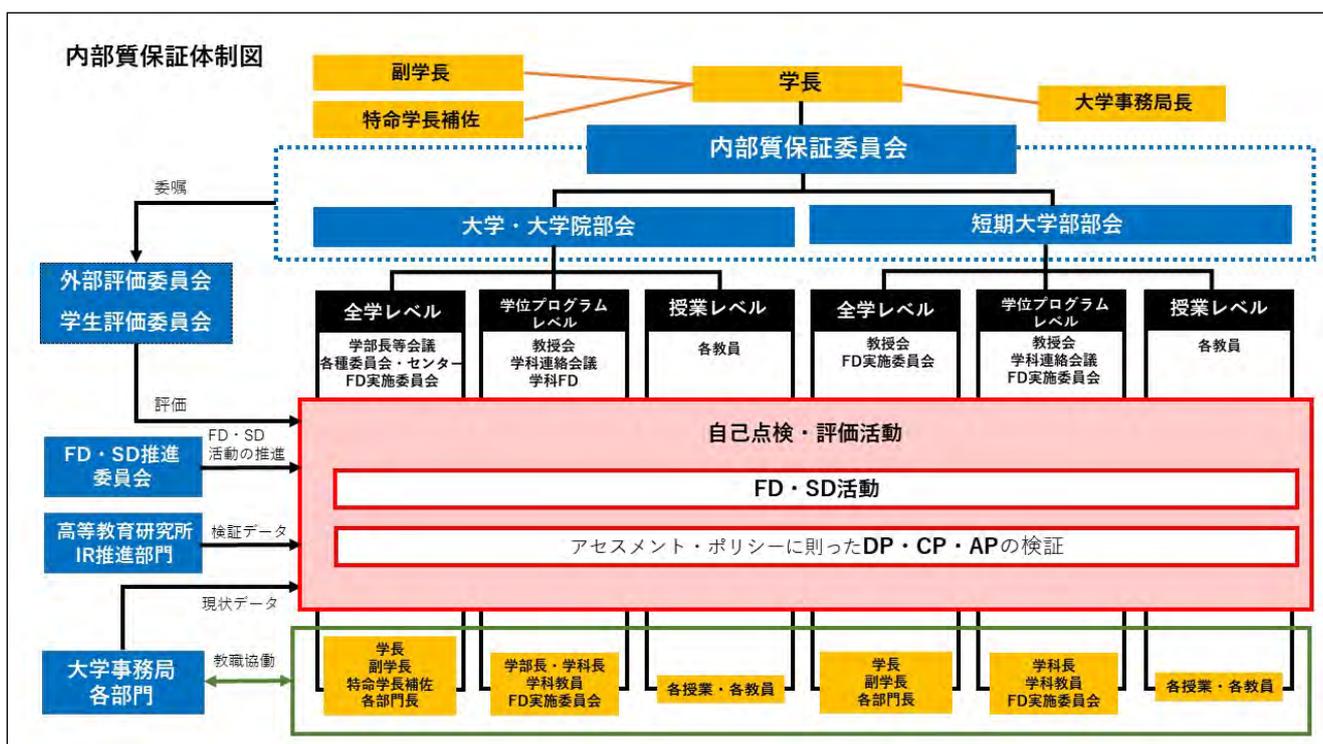
（目白大学・目白大学短期大学部における内部質保証に関する規程第4条）

（推進体制）

第4条 学長は、前条に定める方針に従い内部質保証を推進するため、以下の組織を置く。

- （1）大学全体として内部質保証の推進に責任を負う組織として内部質保証委員会（以下「本委員会」という。）を置く。
- （2）自己点検・評価活動に基づく全学的な観点からの改善を推進するため、本委員会に部会を置く。
- （3）本学の内部質保証について、本学関係者及び外部有識者から意見を得ながら、教育研究活動等の充実と向上、改善を進めるため、外部評価委員会及び、学生評価委員会を置く。

図) 目白大学内部質保証の体制図



2. 第1期学生評価委員会委員

委員の選出にあたっては、各学科からの推薦と新宿キャンパスは学生課からの推薦を受け、学長より委員として委嘱された。

■新宿キャンパス

| 学科 | 学年 |
|-------------|----|
| 心理カウンセリング学科 | 2 |
| 心理カウンセリング学科 | 2 |
| 心理カウンセリング学科 | 2 |
| 人間福祉学科 | 2 |
| 人間福祉学科 | 2 |
| 子ども学科 | 3 |
| 児童教育学科 | 3 |
| 社会情報学科 | 2 |
| 地域社会学科 | 1 |

| 学科 | 学年 |
|-------------|----|
| 地域社会学科 | 1 |
| 地域社会学科 | 2 |
| メディア学科 | 2 |
| メディア学科 | 2 |
| 経営学科 | 2 |
| 経営学科 | 3 |
| 英米語学科 | 2 |
| 中国語学科 | 1 |
| 日本語・日本語教育学科 | 1 |

以上 18 名

■さいたま岩槻キャンパス

| 学科 | 学年 |
|--------|----|
| 理学療法学科 | 2 |
| 理学療法学科 | 2 |
| 理学療法学科 | 3 |
| 作業療法学科 | 1 |
| 作業療法学科 | 1 |
| 作業療法学科 | 2 |

| 学科 | 学年 |
|--------|----|
| 言語聴覚学科 | 1 |
| 言語聴覚学科 | 2 |
| 言語聴覚学科 | 3 |
| 看護学科 | 1 |
| 看護学科 | 2 |
| 看護学科 | 2 |

以上 12 名

3. 学生評価委員会の設置、役割について（関連規程）

（目白大学・目白大学短期大学部における内部質保証に関する規程第 11 条、第 14 条、第 15 条）

（外部評価委員会・学生評価委員会）

第 1 1 条 外部評価委員会及び学生評価委員会は、次に掲げる各号について、意見を聴取し、改善計画の策定に反映させるために開催する。

- （1）卒業認定・学位授与の方針（D P）、教育課程編成・実施の方針（C P）、入学者の受け入れの方針（A P）の各方針に基づく教育活動の評価及び改善に関する事項
- （2）その他本学の教育研究活動等全般に関する事項

（学生評価委員会の構成等）

第 1 4 条 学生評価委員会は、本学に在学する学生若干名で構成する。

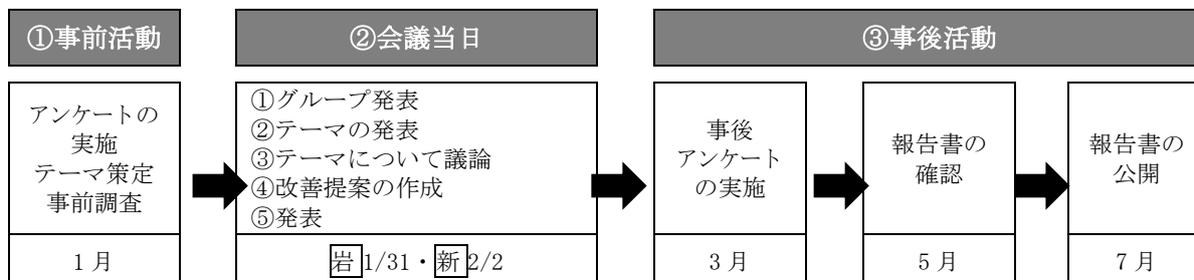
- 2 委員は学科もしくは大学事務局からの推薦に基づき、学長が委嘱する。
- 3 学生評価委員会に委員長を置き、学長が指名する。
- 4 委員会には、学長が必要と認めるときは、委員以外の者を陪席させることができる。
- 5 意見の聴取にあたっては、委員会を開催する。ただし、個別に意見聴取を行うことをもって、委員会を開催したとみなすことができる。
- 6 学生評価委員会の庶務は、大学事務局大学企画室が行う。

（学生評価委員の任期）

第 1 5 条 学生評価委員は、開催する委員会ごとに選任する。

4. 2023 年度学生評価委員会活動概要

学生評価委員会は、①事前活動でアンケート調査、②対面会議でグループ別にテーマに沿った各自の意見、改善へのアイデアを出し合った後に大学への提案をまとめ、学長、副学長並びにテーマに沿った関係者へ提案を公表、③事後活動の事後アンケートにより補足意見で回収し、報告書としてまとめた後、「報告書」と大学からの「回答書」を学生評価委員及び全学生へフィードバックします。以下、事前活動を始め、それぞれの活動について報告します。



5. 事前活動

学生評価委員会では事前に内部質保証委員会で設定したアンケートを事前に行い、結果からテーマを絞り込むこととした。事前アンケート概要は下記の通りである。

5-1. アンケート概要

(1) オンデマンド授業について【新宿キャンパスのみ】

Q：オンデマンド授業に関するアンケート

- ①これまで受講したオンデマンド授業で、どんな授業が良かったですか？
- ②授業後に見返したオンデマンド授業の動画はありますか？「ある」という人は活用方法を教えてください。
- ③オンデマンド授業のメリットはどんなところだと思いますか。
- ④オンデマンド授業のデメリットはどんなところだと思いますか。
- ⑤どのような科目がオンデマンドに適していると思いますか。

(2) キャンパス内で有意義に時間を有効に使うには？【さいたま岩槻キャンパスのみ】

Q：時間割に関するアンケート

- ①1時限目から授業があるとき、朝は何時に起きますか？だいたい時間を記入してください。
- ②普段、その日の最初の授業が始まるどのくらい前から大学にいますか。
- ③普段、その日の最後の授業が終わった後、どのくらい大学にいますか。
- ④1週間の自分の時間割について、どう感じていますか？
- ⑤学内のクラブ・サークル活動等の課外活動に参加していますか？参加している方は、どんな活動か教えてください。
- ⑥毎日の睡眠時間はどのくらいですか。日によって差がある場合はなるべく詳細に教えてください。
- ⑦毎日のリフレッシュ時間（好きなことをする自由な時間）はどのくらいですか。日によって差がある場合はなるべく詳細に教えてください。
- ⑧アルバイトをしていますか？
- ⑨先生以外に授業中、授業をサポートしてくれる学生（院生）スタッフがいた方が良いですか？また、それはなぜですか？
- ⑩履修登録、授業に関する困りごとの解決、勉強の仕方、レポートの書き方など、先生以外で気軽に対応してくれる方が常駐する場所（学習サポートセンター）があったら利用したいですか？また、それはなぜですか？

(3) 入学後、授業が開始されるまでに、何が知りたいか。【キャンパス共通】

Q：入学前教育・オリエンテーションに関するアンケート

- ①今、振り返ってみて、合格が決まってから大学入学前までに自主的に取り組んだ勉強はありますか？それはどんな勉強ですか？
- ②今、振り返ってみて、合格が決まってから大学入学前までに、大学や学科からどのような説明や機会の提供があったら、大学生活（授業や課外活動含める）がスムーズにスタートできると考えますか？
- ③今、振り返ってみて、1年次入学式後から1年次授業開始までに、大学や学科からどのような説明があったら、大学生活（授業や課外活動含める）がスムーズにスタートできると考えますか？
- ④今、振り返ってみて、1年生科目「ベーシックセミナー」の授業で役に立った内容はどんな内容ですか？（現3年生は、「フレッシュマンセミナー」も含める）
- ⑤今、振り返ってみて、大学でどんなことを学ぶか（大学での学びの成果）イメージを持てたのは、いつ頃ですか。
- ⑥今、振り返ってみて、大学4年間の学科の学び（修得科目の積み重ねから得る成長）のイメージは、いつ頃持てましたか？
- ⑦大学4年間の学科の学びのイメージを1年生で持てるようにするには、大学や学科は何を学生の皆さんに伝えたらよいと思いますか。

4) 図書館の利用促進を考える。【キャンパス共通】

Q：本学図書館に関するアンケート

- ①学内での過ごし方で、授業時間の教室以外に、一番長い時間滞在している場所を教えてください。
- ②図書館を週にどの程度利用していますか。
- ③図書館の利用目的を教えてください。
- ④2023年新入生対象のアンケート（4月実施）では、高校時代に月に何冊の本を読んだかという結果が、0冊が57.1%、1～2冊が34.5%でした。この結果はどう思いますか？
- ⑤図書館にこんな機能があったら行くのに…と思う機能や設備を教えてください。
- ⑥2022年度の在学生アンケート（2～4年生対象）では、図書館利用を「まったくしない」が29%、「年に1・2回」が22%でした。しかし、卒業生対象アンケートでは、84%の卒業生が図書館利用をすすめているというデータもあります。在学中の図書館利用を広げるために、思いつくこと（改善の提案）はありますか。

5-2. テーマの確定

各キャンパスのアンケート結果から、4) 図書館の利用促進については、まず、図書館の利用状況や活用について委員会構成員で図書館の状況をよく理解した上で、議論を行うこととし、次回以降にテーマで取り上げることとした。従って、今回のテーマは、各キャンパス独自テーマ1本とキャンパス共通テーマ1本の合計2本とした。

6. さいたま岩槻キャンパス委員会会議

6-1. 会議概要

■さいたま岩槻キャンパス

| | |
|-----------|---|
| 開催日 | 2024年1月25日（木） |
| 時間 | 10：00～15：20 |
| 場所 | 目白大学さいたま岩槻キャンパス2号館2101番教室 |
| 学生評価委員出席者 | 学生12名 |
| 大学出席者 | 学長、副学長、学務部長（教務担当）事務局次長、修学支援部長、教務課長（計8名） |

6-2. テーマ

【テーマ1】大学での時間を有意義に過ごすための改善の提案

【テーマ2】入学確定から授業開始までにどんな機会があったら良いか

まず、1チーム4名～5名のチームを3チーム作った。初めて顔を合わせる学生が多く、アイスブレイクでお互いコミュニケーションをとった後、各チームで検討するテーマを決め、約90分間テーマに沿った各自の体験や意見を話し合った。その後、60分程度で大学への改善の提案を検討し、発表用にまとめた。なお、改善の提案にあたっては、パワーポイントで資料を作成し、各チーム10分程度で改善の提案を発表した後、質疑応答を行った。下記は、改善の提案をカテゴリー別に取りまとめたものであり、順番に沿った改善の提案や発言ではない。また、事後アンケート結果も含める。

6-3. 学生評価委員会からの改善の提案

6-3-1. 【テーマ1】大学での時間を有意義に過ごすための改善の提案

1) 自由に活用できる学習スペースなどの大学内での居場所

現状の課題

- ① 授業合間の時間に学生が過ごせる場所がない
- ② 少人数でグループワークが出来る場所がない

改善の提案

- ① 利用可能な教室情報を学生へ提供するシステムの導入→例えば、各教室に授業時間もしくは各教室に「空き時間」を掲示する

2) コミュニティプラザ Kiri

現状の課題

- ① 使用予約がすぐに埋まる
- ② 男子トイレがない

改善の提案

- ① 予約方法の改善
- ② 1人用学習部屋の入口ブラインドは不要ではないか
- ③ 少人数（4名程度）で使用できるスペースに区切る→ホワイトボードで仕切りにする
- ④ 男子トイレの設置

3) 学内環境や衛生面

現状の課題

- ① トイレにペーパータオルがない
- ② 5号館が食堂に遠く、昼食時食堂に行ったときには長蛇の列である
- ③ バリアフリーの場所が少ない、障がい者（車椅子）が移動しにくい
- ④ クリスマスイルミネーションにお金をかけている

改善の提案

- ① トイレにペーパータオルの設置
- ② 5号館に温かいものが飲める場所の設置

- ③ バリアフリーの促進・・・具体的には中央階段のスロープ、多目的トイレが1階のみでエレベーターが少ない
- ④ 学内の華美な装飾は不要

4) Wifi 環境

現状の課題

- ① 以前より改善されているが、一部弱いところがある

改善の提案

- ① Wifi の環境が増強されたが、まだ弱いところがあるので改善を希望
→授業内で分からないことがあった際に、ネットが接続できず調べることができなかった

5) スクールバス

現状の課題

- ① バスの発着がキャンパス内から確認できないため乗り過ごすことが多い
- ② 大学の停留所待合室にエアコンが設置されているが稼働できない
- ③ 発車時間によっては授業に支障が起こっている
- ④ 本数が少ない
- ⑤ 時間によって混雑する
- ⑥ 途中の停留所は必要か

改善の提案

- ① 大学構内のバスの停留所の再検討
- ② 大学発のバス発車時刻は授業終了後の5～10分後にする
- ③ バスの本数増
- ④ 混雑予想をメールで通知するシステムを導入する
- ⑤ バス停の待合室のエアコン使用方法の周知

6) 時間割や授業関連

現状の課題

- ① 2022年度から30分後ろ倒しになった理由の説明がない
- ② 履修説明が不十分なため、資格取得に向けて、より力を入れて取り組まなければならない科目が良く分からない→カリキュラムの理解に時間がかかる。
- ③ 毎日1時限授業があるのは時間的に余裕がない
- ④ 休日に動画を視聴する課題を示す授業があるので休めない
- ⑤ レジュメが大量に配られる

改善の提案

- ① 授業時間が30分後ろ倒しになった理由の説明
- ② 履修説明の充実（履修のポイントの教示）
- ③ 時間割の空きコマをできるだけ減らす
- ④ 休日に授業行うことは避ける
- ⑤ レジュメではなくペーパーレスの工夫

7) 学内の交流促進

現状の課題

- ① 先輩との交流が少ない（授業、国家試験、学外実習、就職活動への不安がある）

改善の提案

- ① 友人・先輩後輩との関係構築の場の創出
- ② 先輩から話を聞く機会の創出

6-3-2. 【テーマ2】入学前教育やオリエンテーションについて

1) 入学前教育の動画教材

現状の課題

- ① DVD教材であるが、スマートフォン、PCで視聴している
- ② 一般、共通テスト利用の場合、入学前教育を行う時間がない
- ③ 授業動画が単調であり、集中して続けることが大変である
- ④ 必修でも役に立たない内容、選択で役に立つ内容がある
- ⑤ 課題の量が多い
- ⑥ ノートを取るように指示があったが、確認がないので理由が知りたい

改善の提案

- ① スマホ、PCで視聴するため教材のDVDは不要である
- ② 入学後の授業と合致したコンテンツがあっても良い
- ③ やりっぱなしではなく、課題の目的や提出物の添削を希望する

2) 入学前教育の課題図書

現状の課題

- ① 課題図書の目的が明確ではない
- ② 課題図書に感想文などを学生に求めている

改善の提案

- ① 課題図書は学科に関する内容にする
- ② 専門的な内容より、経験談などが入っている入門的な内容にする
- ③ 感想文を課すなどゴールを設定する
- ④ 課題図書の目的を明確に説明する

3) 入学直後のガイダンス

3-1) 履修説明について

現状の課題

- ① ガイダンス時の大学側が必要だと思っている内容と、学生が知りたいと思っている内容とに差がある
- ② 流れるようにガイダンスが進むので重要なところを聞き逃す
- ③ ガイダンスの内容が多く、理解しきれずに終了している
- ④ マニュアルやパンフレットの内容が分かりにくい

改善の提案

- ① 内容の整理・要点の整理が必要
- ② 重要な点についてメリハリのあるガイダンスにする
- ③ マニュアルやパンフレットをより分かりやすくする
- ④ 履修登録方法・キャンパスプランの使い方以外に、以下の説明があるとさらに理解が深まる
 - (ア) 4年間、何単位ずつ履修していくか
 - (イ) 4年間の学修の流れ、イメージ
 - (ウ) それぞれの学期のモデル時間割

(エ) シラバスと各学期の評価方法 (シラバスは出来れば冊子が良い)

3-2) 費用について

現状の課題

- ① 授業が始まってでも使用しないものを買っている
(例 実験用の白衣、使用しない教科書)
- ② 学費以外に必要な費用の説明がない
(例 ワクチン接種費用、教科書代)

改善の提案

- ① 購入するものが利用されているかの確認をする
- ② 入学後にかかる費用 (具体的にはワクチン接種費用、教科書代、実習用の服など) を早めに周知する
- ③ 実習靴も実習服と一緒に大学で購入できるようにする

3-3) 学生同士の交流

現状の課題

- ① 十分に学生同士がコミュニケーションを取る時間がない
- ② 自己紹介だけでは十分に交流できていない

改善の提案

- ① まず友人作りから始め、確かめ合ったりする時間をつくる
- ② レクリエーションなども取り入れ、互いにコミュニケーションを取れる機会をつくる。

6-4. 各チームのプレゼンテーション資料

脱空きコマ難民
さばの味噌煮

話に出た話題

- ・コンビニの値段が高い
- ・バスの発車時刻を授業終了後5~10分後にしてほしい
- ・Wi-Fiの回線が弱い (特にdocomo)
- ・空きコマの時に過ごせる教室が少ない
- ・大変な科目がわからない
- ・先輩にきく機会が少ない
- ・履修のポイントがわからない

一番伝えたいこと なぜなら

★空きコマで過ごせるスペースが欲しい。
少人数でグループワークができるスペースが欲しい。
有意義な空きコマを過ごせたら、有意義な学生生活を過ごせます。

なぜなら

- ・kiriの予約がすぐに埋まってしまい、使用したいときに使用できない。

私たちはこれを提案として考えました

Kiri

- ・1人用座席スペースの入り口ブラインドをとる
- ・少人数 (201,202, 4席ずつ) で使用できるスペースに区切る。ホワイトボードで仕切る。

空き教室を増やす

- ・建物の入り口付近に4~5人でグループワークができるスペースの設置。
- ・ポータルサイト上で空き状況を確認したい (推奨人数を表示)
- ・予約画面をポータルサイトの上に表示してほしい

入学前教育と フォローアップに ついての提案

チーム名 綾鷹

アジェンダ

- ・入学前教育について 出た意見
- ・フォローアップ (ガイダンス) について出た意見
- ・フォローアップ (ガイダンス) について 提案

入学前教育について：動画教材で話に出た話題

- ・DVDで送られてくるが
スマホでも見ることができるので不要
- ・一般・共テ利用だと入学まで時間がない
- ・必修にしているもので役に立たないものや、
選択になっているもので役に立つものもある
- ・入学後の授業と照らすと英会話などの
コンテンツもあったらよい
- ・ノートをとるよう指示があったが、
確認などがなく、とる理由の説明があるとよい
- ・動画が単調で集中して見続けるのは大変
- ・課題そのものが多い

入学前教育について：図書：話に出た話題

- ・学科に関する課題図書が良い
- ・専門的な内容より経験談などが、
入った入門的な内容がよい
- ・感想文などの課題が課されないとなかなかやらない
- ・課題図書は内容によるが面白い
- ・課題図書の出し方
 - ・課題図書そのもの
 - ・課題図書の目的
 - ・感想文を課すかどうかを、整理されていると良いと思う。

ガイダンス：話に出た話題

- ・ガイダンスで説明される、
大学側が必要だと思っている内容と、
学生が知りたいと思っている内容とに差がある
 - ・履修のこと
 - ・かかる費用のこと (教科書、ワクチンなど)
 - ・ワクチン接種のこと
- ・必要のないものの購入は避けたい
白衣、使わない教科書 など

ガイダンス：話に出た話題

- ・すべて重要なのだと思うが、
流れるようにガイダンスが進むので、
結局重要な部分を見逃してしまいがち。
- ・ガイダンスの内容が多く理解しきれず終わる
- ・マニュアルやパンフレットが分かりづらい
- ・友人などと共有したり、
確かめ合ったりすることのためには、
ガイダンスでまず、
友人づくりがあったほうが良い

入学後の私達のために

★ガイダンスの充実を提案したい

なぜなら

- ①友人づくり
- ②内容の整理・要点の整理
- ③学修への見通しの説明

①友人づくりの時間の作成

- ・自己紹介だけでは不十分だと考える
- ・レクリエーションなども取り入れ、
互いにコミュニケーションを取れる機会を、
ガイダンスに取り入れると良いと思う

②内容の整理・要点の整理

- ・要点を整理して説明があるとよい
- ・費用のことを説明するようにしてほしい
教科書
ワクチン接種
学費以外にかかる費用

③学修への見通しの説明

- ・ガイダンスで履修登録の仕方など、
キャンパスプランの使い方の説明以外に、
以下の説明があると良い
 - ・4年間、何単位ずつ履修していくか
 - ・4年間の学修の流れ、イメージ
 - ・それぞれの学期のモデル時間割
 - ・シラバスと各学期の評価方法
(シラバスはできれば冊子が良い)

日々の想いから3つの提案

チーム キリン

話に出た話題

- ・バスが不便
- ・キリに男子トイレがない
- ・授業と授業の間をあけすぎないでほしい
- ・相談しながら勉強できる場所が少ない
- ・自販機の水とお茶が少ない
- ・授業時間が30分後ろ倒しになったのはなぜ？
→「6限終わって帰ると10時頃になる」

話に出た話題

- ・いろいろなことに対して説明が欲しい
- ・Wi-Fiがよくなって嬉しい
- ・ハンカチを持たない人が多いので、ペーパータオルが欲しい
→服や髪で拭いているの汚い
- ・イルミネーションがもったいない
「学費が光ってる」
「どんな思いで払っているか…」

話に出た話題

- ・バリアフリーを進めるべきでは
学生や大学祭に来た高齢者や車いすの人
 - ・中央の階段にスロープがない。
 - ・多目的トイレが1階のみ
 - ・エレベーターが少ない

伝えたいことNo.1 バスの利便性を上げる

なぜなら…

- ・長蛇の列で乗れない
10-15分といいつつ30分待ちや25分かかる等
- ・時間設定が非合理的
例：授業終了とともにバスが出る。
ほぼ使われない。
- ・バス停が不便
例：エアコンの使用方法が不明 →結局寒い
バス停まで遠い

私たちはこれを提案として考えました

本当に望むのは…

- ・バスの本数を増やす
- ・バスの時間を変える（5分ずらすだけで変わる）

せめて検討をお願いしたい

- ・混雑予想のメール
例：実習終わりで240名一気にバス停に押し寄せる予想
- ・バス停の環境改善
例：エアコンの使い方の周知
停車位置を変えてほしい

伝えたいことNo.2 教室を有効活用したい

なぜなら…

- ・授業と授業の間（空きコマ）が長いが、居場所がない。
- ・友人と相談しながら勉強がしたい。
- ・安心して集中できる場所が少ない。

私たちはこれを提案として考えました

- ・利用可能な教室情報を学生に提供する
例：教室の前に空きコマ一覧を張る

伝えたいことNo.3 食環境の改善

なぜなら…

- ・あたたかいものが食べたいが
食堂のレンジが5号館から遠い
たどり着いても長蛇の列
- ・家からの持ち込みにも対応可能な
電気ポットがない
→各自で用意する話まで出ている

私たちはこれを提案として考えました

- ・5号館に2台くらいレンジを設置
- ・同様にポットも設置

6-5. さいたま岩槻キャンパスの学生評価委員会の提案によせて

副学長 堤 千鶴子

短い時間でしたが、様々な意見を取り纏め、ご提案をいただき、ありがとうございます。学生評価委員会からご意見、改善案は大学にとって、学生の皆さんの教育及びキャンパスライフの質の向上のために、非常に重要なことであり、大学が今回のご意見を共有して改善するように努めます。なお、2023年7月に行った「施設設備に関するさいたま岩槻キャンパス全学生へのアンケート調査」の回答に、今回ご指摘の内容も含まれていましたので、既に改善策を実施したものもあります。

2023年度から導入されたスクールバスは、さいたま岩槻キャンパスの創設からの念願の制度でした。スクールバス導入により学生の皆さんの利便性は向上したと考えております。バスダイヤの問題などは、昨今の課題であるドライバー不足や、働き方改革で次の運転までに時間を空けなければならない等の課題も山積している中で、朝の増便や、空いている一般バスの活用など鋭意努力中です。しかし、まだまだ大学として検討していく課題であると感じております。

コミュニティプラザkiriは、さいたま岩槻キャンパスのみに設置されたコミュニティ・スペースであり、先輩や後輩との交流や、他学科の学生間の交流のための自由な空間として、更に有効活用してもらえるように学生の皆さんに意見を聞いていきたいと考えています。

学習スペースについては、コミュニティプラザkiri以外にも使える学習室として、図書館入り口横のスペースを確保しましたので活用してください。曜日で異なりますが、空いている小教室を含めて確保に努力しているところですが、さらに学生の皆さんと教職員で協働して改善にあたるようにします。

今回の委員会を通して、大学から学生の皆さんへの説明が不足していたことを痛感しました。学生と教職員が同時に情報を共有する機会や説明の方法について、さらに工夫し、実践していきたいと考えています。



7. 新宿キャンパス委員会会議

7-1. 会議概要

■新宿キャンパス

| | |
|-------------------|--|
| 開催日 | 2024年2月2日(金) |
| 時間 | 10:00~16:00 |
| 場所 | 目白大学新宿キャンパス8号館08A00番教室・08A01番教室 |
| 学生評価委員出席者 | 学生17名 |
| 大学出席者 | 副学長、学務部長(教務担当)、事務局長、教務部長(計6名) |
| ファシリテーター サポート等 | 高等教育研究所スタッフ、大学企画室スタッフ、障がい学生学生等 支援室スタッフ(計6名) |

7-2. テーマ

アンケート結果を受け、新宿キャンパス学生評価委員会の第1回テーマは下記の2テーマとした。

【テーマ1】教育効果が高いオンデマンド授業への改善の提案

【テーマ2】入学確定から授業開始までにどんな機会があったら良いか

まず、1チーム4名~5名のチームを4チーム作った。初めて顔を合わせる学生が多く、アイスブレイクでお互いコミュニケーションをとった後、各チームで検討するテーマを決め、約90分間テーマに沿った各自の体験や意見を話し合った。その後、60分程度で大学への改善の提案を検討し、発表用にまとめた。なお、改善の提案にあたっては、パワーポイントで資料を作成し、各チーム10分程度で改善の提案を発表した後、質疑応答を行った。下記は、改善の提案をカテゴリー別に取りまとめたものであり、順番に沿った改善の提案や発言ではない。また、事後アンケート結果も含める。

7-3. 学生評価委員会からの改善の提案

7-3-1. 【テーマ1】教育効果が高いオンデマンド授業への改善の提案

・オンデマンド授業の前提

<メリット>

- A) 講義形式の授業はオンデマンドが効果的である
- B) いつでも見返せる、小テスト等の結果を見返せる
- C) 課題を最後に提示して見返させる
- D) 倍速再生できる
- E) 一時停止ができる
- F) 自分のペースで手軽に受けることができる
- G) 資料を残せる

<デメリット>

- H) 教育効果の高いオンデマンド授業はない
- I) オンデマンド授業は基本、流し見である

1) オンデマンド授業のシステムについて

現状の課題

- ① Schoo Swing の使用方法の説明が足りない
- ② Schoo Swing のサイトにたどり着くまで時間がかかる
- ③ Schoo Swing のリマインドがない
- ④ Schoo Swing の Google フォームとの互換性が低い

- ⑤ Schoo Swing の動画がスマートフォンで観られない場合がある（クイズ形式は、PC かタブレットでのみ視聴可）
- ⑥ 先生から課題の反応がないとモチベーションが下がる

改善の提案

- ① オンデマンド授業のリアクションは Google が良い
- ② オンデマンド形式の統一化をする
- ③ スマートフォンで動画視聴を促進する
- ④ 先生からフィードバックをもらうことで授業に参加している実感が沸くので、オンデマンドであっても課題へのフィードバックなど工夫をして欲しい
- ⑤ Schoo Swing にリマインド機能を付ける
- ⑥ Schoo Swing に動画 UP の通知機能を付ける
- ⑦ Schoo Swing に提出物の有無が一覧からわかるようにする
- ⑧ Schoo Swing のログインの手間を少なくする
- ⑨ Schoo Swing に試験前に見返せる機能をつける
- ⑩ Schoo Swing にスマートフォンでもすべての動画が視聴できるようにする
- ⑪ Schoo Swing にアプリも使えるようにする
- ⑫ Schoo Swing の情報を統一する→クラス中ではなく、お知らせに出てくるなどの状況をなくす
- ⑬ Schoo Swing の入学前にシステムの説明をする
- ⑭ 課題の回答結果が自分に戻ってくる機能を付ける

2) 動画資料

現状の課題

- ① 集中できない映像がある（先生の表情、背景、猫、画質の悪さ）
- ② 集中力が続かない、理解意欲が低下する
- ③ 通信環境が悪い
- ④ 意見を聞くことができない、質問ができない
- ⑤ スライドが文字ばかりは見づらい

改善の提案

- ① オンデマンド授業の特徴にあった（対面とは違う）内容にしてほしい
- ② 動きをつける、要点を強調するなど重要な点が出る構成にしてほしい
- ③ 字幕を付ける（視覚的にも内容を理解しやすい/図書館・カフェ・電車の中で学習できる）
- ④ オフラインで見れる動画（ダウンロード機能を付ける）
- ⑤ 事前に課題やリアクションペーパーで聞きたいこと（授業の重要なポイント）を提示する
- ⑥ 授業内で穴埋め問題を使用
- ⑦ 息抜き要素を加える（飼い猫、雑談等）
- ⑧ 退屈しない工夫（クイズ/質問形式→応答性のある授業にする）
- ⑨ 資料の充実→授業スライドのアップロードや穴埋め形式の資料

3) その他、オンデマンド授業の有効活用提案

- ① 1 時限の有効活用（通学時間と通勤時間の考慮）や夜間コマでの開講
- ② 授業の振り返りのために視聴期間を学期中可能にする
- ③ オンデマンドの資格支援プログラムの提供（資格の勉強やキャリアの講座等）
- ④ 大学内でオンデマンド授業を受ける環境を作る。（図書館で受講できるようにする）

7-3-2. 【テーマ2】入学確定から授業開始までにどんな機会があったら良いか

現状の課題

- ① 入学前教育は、入試種別や学部によってタイミングも違うため、入試・学部別の情報格差がある
- ② オリエンテーションの内容が学科によって異なるため、学生同士の交流の機会が、オリエンテーション中、授業開始後と様々である。交流がないと情報不足のため入学後の不安が解消されない
- ③ オリエンテーションでの情報が少ない
例) 空きコマ・空き時間の使い方、施設設備、フリースペースの場所、空き教室の使い方、教務システム、学生ネットサービスの使い方、各種オンラインサービスまでのリンク、相談先
- ④ 入学前の案内サイトはわかりやすいが、入学後は情報がわかりづらい
- ⑤ サークル・団体の案内がわかりづらい、休眠サークルもHPに載っている
- ⑥ サークルが活発ではない
- ⑦ カリキュラムマップやナンバリングは、分かりづらい

改善の提案

- ① オリエンテーションの充実
 - ・先輩の話を聞く機会、先輩との交流機会があるオリエンテーションやグループワークの実施
 - ・履修、ゼミ、大学生活、「大学生セオリー」学びのイメージを持ったり目標を持ったり、学びのゴールがわかるようなプログラム
 - ・友人づくりにもつながるプログラム
 - ・サークルなど課外活動について知る機会
- ② 早いタイミングでの情報提供
- ③ 情報の内容、提供方法の工夫・改善
- ④ オリエンテーションより前にさまざまな情報がまとまって入手できる＝入学後の必要な情報がまとまったサイトの作成

7-4. 各チームのプレゼンテーション資料

取り組みやすいオンデマンド授業を目指して

オンデマンド授業の良いところ・悪いところ

- 良いところ
 - ・倍速再生
 - ・自分のペースで手軽に受けられる
 - ・資料を残しておける
 - ・停止できる
- 課題点
 - ・集中力が続かない→理解意欲の低下
 - ・通信環境が悪い
 - ・意見を聞くことができない、質問ができない

一番伝えたいこと
オンデマンド授業に取り組むと、教育効果が高まると考えた
そのためには**統一化・主体性**が大切である
大学側：オンデマンド形式の統一化
学生側：主体性を持って授業を受ける
相互作用によって、受講者が取り組みやすいオンデマンド授業が実現すると考えました

目標：主体性を持って取り組めるオンデマンド授業にするには

- ・退屈しないことが大切 →クイズ/質問形式 →応答性のある授業
- ・資料の充実化 →授業スライドのアップロード/穴埋め形式
- ・期限の設定 →課題の提出
- ・資格取得による単位認定システム（経営：簿記・TOEIC対策の授業）

→知らない人もいるため、情報共有を行い、共通認識をもつ

テーマ：オンデマンド授業の統一化

<理由>

- ・提出場所がGoogleフォームのほうが良い
- ・見返すために、回答返信機能（Googleフォーム）をつけてほしい
- ・電波/アクセスしづらい
- ・通知がこない

<具体案>

- ・入学前にシステム（オンデマンド）の使い方を説明する
- ・字幕をつけることで、場所を選ばずいつでも受講可能（聞き取りにくいことがある。イヤホン忘れ、図書館・カフェ・電車）
- ・オフラインで見れる動画
- ・通知メールの見出しを工夫する（「注意」「緊急」など）

テーマ以外の提案・疑問

■ゼミ決め

- ・GPA順ではなく、学生の希望や面談等を実施し、学生の意見を聞いたうえで決めてほしい（子ども学科：300字以内で抱負提出）

■図書館での遠隔授業の受講

- ・遠隔授業禁止の理由を教えてください

まとめ

取り組みやすいオンデマンド授業を目指してほしい

そのために
システムの統一化・生徒の主体性補助

応答性のある授業
資料の充実と課題の規格化
システムの説明
字幕やダウンロード性の付加

オンデマンド授業の効率化・効率化を以上の対策で回ることができま
それによって意欲の向上・理解力が深まるため、これらが教育効果の高いオンデマンド授業
につながると考えました。

教育効果の高い オンデマンド授業の提案

チーム：調査兵团

話に出た話題 3点

<相互型のメリット>

- ・アクションを学生側が起す授業は効果的（内容に入っている）
- ・リアクション（意見）しやすい。リアルタイムで質問可

<オンデマンドの特徴>

- ・課題型の内容に合う
- ・いつでも見返せる、小テスト等の結果を見返せる→見返せない設定をする先生も
- ・課題を最後に提示して見返させる
- ・音声聞いて回答するだけの授業 →効果的か？
- ・授業にあまり関係ない課題を提示される

<先生の授業の進め方>

- ・早口すぎない、字幕付き
- ・先生の顔で集中できない（表情、背景、猫、画質の悪さ）

一番伝えたいこと

★オンデマンド授業の特徴にあった（対面とは違
う）内容にしてほしい

なぜなら

- ・「対面とは違う」という視点で動画を作成する
ことで、効果的な内容になる

私たちはこれを提案として考えました

- オンデマンド授業の特徴を生かした・伸ばした内容にしてほしい
- ・事前に課題やリアクションペーパーで聞きたいこと（授業の重要なポイント）を事前に提示してほしい→重要な点を把握しつつ集中して視聴できる、課題のためにすべてを再視聴することが少なくなる
- ・動きをつける、要点を強調するなど重要な点がわかる構成にしてほしい
- ・字幕付きだと視覚的にも内容を理解しやすい
- ・授業の振り返りのために視聴期間を学期中にしてほしい

オンデマンドの資格支援プログラムを提供してほしい

- ・資格の勉強やキャリアの講座等オンデマンドだと受けやすい

オンデマンド授業に対する 学生の想い

チーム名：ルンデマンド

▶班内の第一印象

- ・オンデマンドと対面のコマの重複
- ・SchooSwingの困りごと
- ・大講義室の講義授業はオンデマンドへ変更
→自由科目や講義等
- ・オンデマンドは、継続か微増を希望

今回の提案

- 1) Schoo Swingの利用価値について
- 2) オンデマンド授業について

1) Schoo Swingの利用価値について

問題点

- ・使用方法の説明が足りない
- ・サイトにたどりつくまでに手間がかかる
- ・リマインドがない
- ・Google フォームとの互換性が低い
- ・スマホで動画を見れない場合がある
(クイズ形式は、PCかタブレットが必要)

提案

- ・リマインド機能を付ける
- ・動画UPの通知機能を付ける
- ・提出物の有無が一覧からわかるようにする
- ・ログインの手間を少なくする
- ・試験前に見返せるようにする
- ・スマホでも全ての動画が見られるようにする
- ・アプリも使えるようにする
- ・情報を統一する
→クラス中ではなくお知らせに出ている、などの状況をなくす

2) オンデマンド授業について

問題点

- ・教育効果の高いオンデマンドない。
- ・オンデマンドは基本流し見。

提案 ▶望ましいオンデマンドとは

時間の工夫：

- ・1限を有効活用
(通学時間と通勤時間の考慮)
- ・夜間コマの利用

提案

動画の工夫：

- ・スライドが文字ばかりは見づらい
- ・授業内で穴埋め問題を使用する
- ・息抜き要素を加える
例) 飼猫、雑談 等

授業開始までに向けて 提案したいこと

- 白馬にかけるものたち

話に出た話題

- 入試・学部別の情報格差がある
フォローアップがある入試(総合・推薦)
フォローアップがない入試(一般・共テ・統一)
学部によってタイミングも違う
- 交流の機会の有無
授業が始まってから友達ができる学科
オリエンでアクティビティがある学科
交流がないと情報が不足したり
不安が解消されなかったりする

話に出た話題

●様々な大学のシステムについて
 空きコマ、空き時間の使い方
 施設設備、フリースペースの場所、
 空き教室の使い方
 教務システム、学生ネットサービスの使い方
 上記のオンラインサービスまでのリンク
 相談先がわからない

入学前の案内サイトはわかりやすい
 その後の情報のわかりづらさ

話に出た話題

●サークル・団体について
 休眠サークルもHPに載っている
 サークルの案内が分かりづらい
 そもそもサークルが活発ではない
 大学の支援が充実してほしい

話に出た話題

●履修・カリキュラム・学びのイメージについて
 カリキュラムマップ、ナンバリングは謎
 (分かりづらい)
 最終的なゴール、何が学べるのか
 毎学期何単位づつとるのか、平均単位取得数
 履修登録のことだけではなく、
 どういうふうに学んでいくのか、
 もっとイメージが持てる説明がほしい
 履修登録のことももっと細かくほしい
 情報提供の内容にも課題がある(何のこと?となる)

伝えたいこと

★**オリエンテーションの充実**
 ★**情報の内容、提供方法の工夫・改善**

なぜなら

- ・情報格差があること
- ・友人づくり・交流
- ・大学のシステムの説明
- ・学びのイメージ(学科のイメージ)がもてる工夫

提案1：オリエンテーションの充実

- ・先輩の話の聞いたり
 先輩との交流機会があるオリエンテーション
 グループワークの実施
 (履修、ゼミ、大学生活、「大学生セオリー」
 学びのイメージを持ったり目標を持ったり
 学びのゴールがわかるようなプログラム)
 (友人づくりにもつながるプログラム)
 (サークルなど課外活動についても
 聞けるとなお良い)

提案2：情報の内容、提供方法の工夫・改善

- ・オリエンテーションまでに情報が入らないので
 オリエンテーションに先立って様々な
 情報がまとまって入手できると良い
- ・入学後の必要な情報がまとまったサイトの作成
- ・カリキュラムマップやナンバリングは、
 そもそも分かりづらいので改善があるとよい
- ・先生方で情報が共有されて、
 配慮が必要な子のためにも、
 より早いタイミングで情報が提供されるとよい

7-5. 新宿キャンパス学生評価委員会からの提案によせて

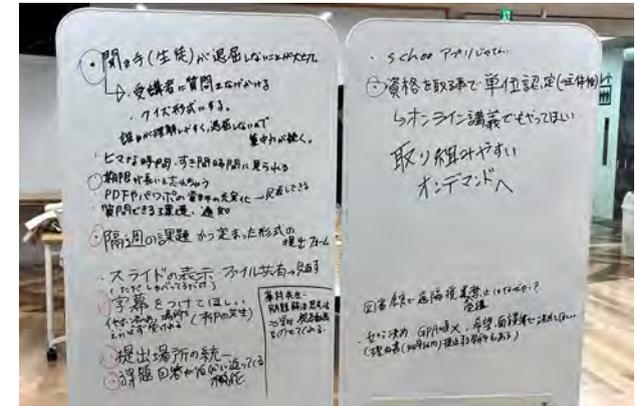
副学長 土井 正

テーマとなった2つの課題うち、「教育効果」については、本来は教員が考えるものです。私たちは、どうしたら学生の「学修効果」を高めることができるのか、日ごろから腐心しています。授業は、教員と学生の双方向のコラボレーションでつくっていくものですから、教員の取り組みが独善的にならないよう、皆さんの忌憚のない意見は貴重です。今回、オンデマンド授業に関する改善点については、具体的な提言もあり、私たちも気付かされることが多々ありました。いただいたご意見等は、教務委員会などを通じて教職員で共有し、さらなる授業改善につなげていきたいと考えています。

その中で、LMS (Schoo Swing) について、スマートフォン活用の提言がありましたが、2023年度入学者からBYOD化を開始したこともあり、本学ではPCによる学修を推進しています。今後、教室の内外でPCを持参して学修する機会が増えますし、社会人基礎力としてもPCのリテラシーは欠かせないものですから、ぜひご対応ください。

2つめのテーマ「入学確定から授業開始までにどんな機会があったら良いか」は、新宿キャンパスの学年暦では、入学前の期間だけでなく、入学式から授業開始までの間も時間が空いています。大学において1年生の学び(初年次教育)の重要性は論を待ちません。入試の合格から授業開始ま

での期間がより充実したものとなり、高校までの学びが大学での学修にスムーズに連結できるよう、入学前教育やオリエンテーション、スタートアップセミナー等について教職員一同知恵を絞って参りますので、今後ご意見をいただきたくお願いします。



8. 事後活動と提案への検討・回答の周知について

学生評価委員会終了後、学生評価委員会では、以下のアンケートを実施した。質問は①担当したテーマに対する補足、②担当しなかったテーマへの意見、③改善提案を基に大学が検討・改善したことの告知方法、④大学として学生支援における改善や変更事項などの学生への周知方法についてであり、①と②の回答は、各テーマの項目に含めて報告書へ記載した。

今回の改善提案への大学での検討及び具体策については、大学学長及び大学事務局長、大学事務局次長より回答をいただき、学生評価委員会構成員への回答に加え、上記③の結果に基づき、全学生へ学生ネットサービス（学内イントラネット）で周知することとした。

9. 【総括】2023年度（令和5年度）第1回学生評価委員会の活動によせて

学長 太原 孝英

これまでも外部評価の一環として、学生の皆さんからご意見をいただいておりますが、2023年度に大学の正式な委員会として、また学生の皆さんが構成員となる学内で設置された初めての委員会であり、今回はとても楽しみにしておりました。

新しい学生評価委員会では、従来とは違って、参加してくださった学生さんたちをグループ分けして、ファシリテーターが入った上で、それぞれがテーマを決めて話し合いをし、その結果を報告した上で、さらに討論するという新しい形を取りました。互いに意見を交換した上で、まとめができたことは大変良かったと思います。ただ学長として、さいたま岩槻キャンパスの委員会の日は、自ら出席して直接回答をすることができましたが、新宿キャンパスの開催日に、年に1度あるかないかの発熱をしまい、出席できず、皆様には大変申し訳なく、また自分としても大変心残りでした。

それでも報告書を読むことで、施設面やオンデマンド授業の運営方法などについての提案や意見を知ることができて、私たち教職員が改善したり、努力しなければいけないところがあることも理解しました。

なお、提案の中には、学生自身が自主的に動くことで、欲しかった情報が入手できたり、学生自らがやり方を改善することで、学修活動をより充実させることもあると思います。つまり、私たち教職員が行っている教育活動の考え方や、学生の皆さんが普段思っていることと少し齟齬がある事象もあるように見受けられました。

そのあたりも含めて、学生の皆さんの意見に耳を傾けることと同時に、私たち教職員は高等教育機関として大学の役割や目白大学の教育方針をもっと丁寧に伝えて行く責任があると感じました。いずれにしても私たち教職員にとって、この委員会を通し様々な角度で有意義な意見をいただいたことを感謝しております。次回もさらに充実した委員会になることを望んでいます。

以上

2023年度 目白大学 学生評価委員会報告書

編集：目白大学学生評価委員会

目白大学・目白大学短期大学部内部質保証委員会（大学・大学院部会）

発行：2024年7月

